

【Ⅰ】リスニング（リスニング原稿）
（英文と質問は2回ずつ放送されます。）

Today, I'm going to tell you about our volunteer group. Our school is very active for volunteers. Are you interested in volunteering?

First, I would like to tell you about its history. Our volunteer group is now three years old. Some students who were interested in volunteering gathered and talked about it. It was the beginning. Then they asked their teachers, "Is it possible to have our own volunteer group?" All the teachers answered, "Yes, of course. We are proud of you." The students then started to make posters and put them on the walls. Some students who saw them joined the group. Now about 40 students belong to the volunteer group.

Second, I will tell you about our activities. Our main activity is to clean the street. When we announce about cleaning, many students and teachers take part in it. The Uganda Africa Project three years ago was also a big activity for us. We collected pencils, notebooks and erasers from the students and sent them to children in Uganda. We also collected some money for this project from people at the station.

I think it's important to think about other people and the environment around us. If you want to do something good, please join our group! Thank you for listening.

Q1. When did the volunteer group start?

Q2. What did the students do to start their volunteer group?

Q3. How many students have joined the volunteer group?

Q4. What is one of their activities?

Q5. Where did they send the things they collected?

【Ⅱ】長文読解

【本文大意】

ユリは大学生の時にサンフランシスコの大学に留学した。ホストペアレントはスミスさん夫妻で、ルーシーという娘がいた。サンフランシスコには見るべき場所が多く、生活を満喫していた。しかし、ひとつだけ理解できないことがあった。スミスさん夫妻が、自分たちとの生活を楽しんでいるかと尋ねたことだった。

ある夜、スミス夫人がユリに心配ごとを告げた。それは、ユリが夕食後すぐに自室にこもり、自分たちとあまり話をしないこと

だった。ユリにはそれが驚きだった。夕食後すぐに自室に行き、そこで宿題をし、日本の友人と LINE で話しているのは確かだ。しかし、日本では同じことをしても、両親がそれを心配することはなかった。

翌日、ユリはルーシーに、自分をもっと一緒に話をすべきだろうかと尋ねてみた。ユリは自分たち家族の一員だし、もっとあなたのことを知りたいからそうすべきだというのがルーシーの返事だった。

その後、ユリは毎晩ホストファミリーと話をした。趣味のこと、ボーイフレンドのこと、そのほか日本での生活のあれこれを。ホストファミリーはユリの話聞き、以前よりも自分のことを理解してくれるようになった。ユリはホストファミリーと一緒に多くの時間を過ごすことが大切だと気づいた。

【解説】

- ①「見るべき場所」は a lot of places to see と不定詞で表現する。
②現在進行形 be 動詞＋～ing です。
- 「そのことを聞いて驚いた」 surprised が正解です。
- 「同じこと」とは、夕食後すぐに自分の部屋に行くこと。
- 「時間を過ごす」の意味をあらわす spend が入ります。
- want to ～「～したい」と more about ～「～についてもっとたくさん」がポイントです。
- ⑦「～しようとした」となるように tried to ～で始めます。
⑧比較級 better than ～がポイントです。
- 本文の結末部を理解すれば、「ユリはスミスさん夫妻の心配ごとを解決することができた」となるはずです。

【Ⅲ】長文読解

【本文大意】

今までにマガワについて聞いたことがありますか。マガワはアフリカオオネズミですが、普通のネズミではありません。彼はヒーローであり、2021年には金メダルを受賞しました。彼が何をしたのか知っていますか。

アフリカオオネズミの寿命はたった8年です。ヒーローネズミのマガワは、5年間カンボジアで働いています。彼は APOPO という慈善団体によって1年間訓練され、地雷を見つけるのが非常に得意になりました。アフリカオオネズミは目が良くないのですが、非常に鼻が利きます。マガワはカンボジアで 71 個の地雷と 38 個の不発弾を発見しました。素晴らしいです！

慈善団体は地雷から人々を守るために、マガワのような動物を訓練し 1997 年から活動しています。ネズミは非常に小さくて軽いので、危険を伴わずに地雷を発見できます。地雷撤去にはネズミを訓練するのが非常に有効です。

地雷問題を解決するには他にも方法があります。犬は賢く訓練しやすいのですが、より多くの費用が必要で、危険な地域に連れていくのが難しくなります。また、ロボットも作られていますが、さらにより多くの費用がかかります。カンボジアでは、あまり費用をかけることはできません。ネズミを訓練するのは、この問題を解決する最善の方法の一つです。

マガワはつい最近、地雷除去の仕事を引退しました。彼は普通のネズミとして幸せな生活を暮らし、休養し大好物を食べています。カンボジアの人々は、マガワがした仕事に対して、マガワを大いに尊敬しています。今 20 匹の新しいヒーローネズミが、カンボジアの人々の命を守るために働いています。では、私たちはカンボジアの人々のために何ができますか。世界ために何ができますか。マガワは、私たちがより良い世界を築くために何をすべきかについて考えさせてくれます。

【解説】

- ①現在完了の経験用法。Have 主語 ever 過去分詞 ～?
⑥so ～ that … 「非常に～なので…」
- ②受け身 be 動詞＋過去分詞で、不規則変化を覚えているかがポイントです。
⑦後ろに than が続くことから、比較級 bigger を入れる。
- ③本文の内容から単語の意味を類推する問題。under the ground などのキーワードから「地雷」を選ぶ。
- amazing 「驚くべき」以外は本文の内容に合わない。
- ⑤現在完了の継続用法。後ろに年号が続いているので、since 「～以来」を選ぶ。
- 本文大意参照。
- ア. 本文にない イ. ○第3段落参照
ウ. ×鼻は良いが、目ははっきりと見えない。
エ. ×犬とロボットは地雷除去のためのもので、アフリカオオネズミを訓練するという記述はない。
オ. ○第5段落参照

【IV】空所補充による同意文完成

1. 現在分詞の形容詞的用法(後置修飾)への書きかえ。
2. 第4文型から第3文型への書きかえ。動詞に「buy」が使われている「buy型」のパターン。
3. 「The news」を主語にした、第5文型への書きかえ。
4. 関係代名詞(主格)への書きかえ。
5. 「AもBも両方とも」を表す熟語。

【V】適語選択

1. 否定の命令文。
2. 答え方から、手段を聞いている疑問文だとわかる。
3. 「8月は〇〇の後に来る」。
4. be interested in ～「～に興味を持っている」。
5. 主語が「Tom and I」の複数形。

【VI】整序英作文

1. 「何枚～(数をたずねる疑問文)」How many ～?。
2. 「～を楽しみに待つ」look forward to～。
3. 「～する必要はない」not have to～。
4. 「～できる」be able to～。

【VII】和文英訳

英訳は、4点、2点、0点の3段階で採点し、部分点を設ける。

1. 「～時に起きる」get up at ～
2. 「～しましょうか」Shall I～?